

研究 成 果 情 報		園 芸	8	野菜	栽培
新技術・情報名	葉ごぼうの品質向上のための播種期及びトンネル被覆時期			分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

葉ごぼうは休眠により葉柄のしなび、枯れ込みによる品質の低下が生じるので、葉ごぼうの品質向上のための播種期、トンネル被覆開始時期を品種及び出荷時期別に明らかにした。

(1)「葉ゴボウ専用品種」は、地上部の冬期休眠性が浅いため、1月出荷は10月5～20日に播種し、11月20日からトンネル被覆を行なう。2月出荷は10月5日～11月5日に播種し、12月20日からトンネル被覆を行なう。3月出荷は10月20日～11月5日に播種し、トンネル被覆は行なわない。

(2)「渡辺早生」は、厳寒期に入る前の生育量が大きいと休眠にはいる特性があるため、3月上旬出荷は11月5日に播種し、11月20日からトンネル被覆を行なう。

2) 技術・情報の適用効果

播種期別栽培法の確立により、品質の優れた葉ごぼうの安定的な供給が可能になる。

3) 適用範囲

県下平坦地

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

(1) 渡辺早生の10月20日以前の播種では葉柄がしなび商品性がなくなるので、早播きはしない。

(2)「みとよ白肌」、「プラチナ」の播種期及びトンネル被覆時期は「渡辺早生」と同様が良い。

(3) 冬期の乾燥によって葉柄がしおれ商品性が劣ることがあるので適度な灌水を励行する。

(4) 晴天日の日中は高温による葉やけを防ぐため、トンネルのすそ換気を励行する。

2. 具体的データ

表1 「葉ゴボウ専用品種」の収量及び品質 (平成2,3年平均)

被覆 開始	播種日	1月16日		収穫期		収穫適期
		収量	品質	収量	品質	
	月.日	kg/10a		kg/10a		
11	10. 5	808		808	上~中	1月上~中旬
・	10. 20	955		955	上	1月中~下旬
20	11. 5	140		918	上	2月中旬
12	10. 5	629		930	上	2月上旬
・	10. 20	245		859	上	2月中旬
20	11. 5	28		880	上	2月下旬
無 被 覆	10. 5	533		921	上~中	2月中~下旬
	10. 20	226		939	上	3月中旬
	11. 5	28		930	上	3月下旬~4月上旬

注) ① 品質は葉柄の外観品質を上、中、下の3段階で評価した。
 ② 収穫適期は葉柄重+根重が25~30gとなった時期。

表2 「渡辺早生」の収量及び品質 (平成2,3年平均)

被覆 開始	播種日	3月10日		収穫期		収穫適期
		収量	品質	収量	品質	
	月.日	kg/10a		kg/10a		
11	10. 5	-		-	下	収穫不可
・	10. 20	-		-	下	収穫不可
20	11. 5	927		927	中	3月上旬
12	10. 5	-		-	下	収穫不可
・	10. 20	812		812	上	3月上旬
20	11. 5	381		874	上	3月中~下旬

注) ① - : 休眠による地上部の枯死。
 ② 品質は葉柄の外観品質を上、中、下の3段階で評価した。
 ③ 収穫適期は葉柄重+根重が25~30gとなった時期。

3. その他の特記事項

担当部 科室名: 豊前分場 普通作物研究室
 研究担当者名: 小田原孝治・松江勇次
 研究課題名: 葉ごぼうの安定栽培技術確立
 期間: 平成2年~平成3年
 予算区分: 経常
 既発表論文・資料名等: 平成3年度 豊前分場 普通作物研究室
 野菜試験成績書
 取りまとめ責任者名: 小田原孝治